

ブラッシュアップ熊毛

熊毛教育事務所だより

令和2年度 第3号

新学習指導要領に対応した取組の成果

令和2年度鹿児島学習定着度調査結果

令和3年1月13・14日に鹿児島学習定着度調査が行われ、その結果がまとまりました。14教科全て県平均を上回り、13教科で県平均を2.0ポイント以上上回りました。

この成果の理由は、まず、児童生徒の皆さんが日頃から一生懸命に努力したことの結果だと考えます。本年度はコロナ禍で授業時数の減少を余儀なくされた状況にも負けず、落ち着き、呼吸を整え、取り組まれたことがすばらしい結果につながったと思います。また、その背後に児童生徒を優しく支えてくださった保護者の方々のサポートもあったことと思います。保護者の皆様のご協力に感謝いたします。

次に、「基礎・基本」よりも「思考・表現」の結果がよかったことから、各学校の授業が新学習指導要領に沿って、「教える」授業から、「考え、学ぶ」授業に変わりつつあることがうかがえます。特に、授業内での「学び合い」や「振り返り」を工夫し、それらが確実に行われたことが、結果に直結したと考えます。また、年間を通して、教職員が一丸となって、これからの学力について研修に取り組まれたことの賜だと考えます。先生方からの授業改善の努力と研鑽に感謝いたします。

今、児童生徒は「やればできる」ということ、先生方は日頃の取組が正しかったことに自信をもたれたことと思います。児童生徒が持続可能な社会を乗り越えていくための取組は、まだまだ始まったばかりです。今後は「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力等」がバランスよく育まれることで、学力は一層向上すると考えます。そのために、地区一体となって「ブラッシュアップ」していきましょう。

【○：県平均を上回っている（◎2ポイント以上）、▽県平均を下回っている（▼2ポイント以下）】

教科	問題別	小学5年生		中学1年生		中学2年生	
		熊毛	県との比較	熊毛	県との比較	熊毛	県との比較
国語	基礎・基本	81.5	0.4 ○	82.6	-0.3 ▽	77.4	0.6 ○
	思考・表現	67.1	4.0 ◎	79.9	6.1 ◎	81.1	4.5 ◎
	全体	76.7	1.6 ○	81.4	2.7 ◎	79.1	2.4 ◎
社会	基礎・基本	81.5	1.0 ○	71.6	4.5 ◎	76.7	9.1 ◎
	思考・表現	73.8	5.6 ◎	66.2	7.4 ◎	74.9	7.3 ◎
	全体	78.4	2.9 ◎	69.8	5.4 ◎	76.1	8.5 ◎
算数・数学	基礎・基本	76.3	0.4 ○	82.5	2.1 ◎	73.4	2.1 ◎
	思考・表現	59.5	5.8 ◎	64.8	3.1 ◎	61.4	2.9 ◎
	全体	71.4	2.0 ◎	77.3	2.5 ◎	69.4	2.4 ◎
理科	基礎・基本	80.5	4.7 ◎	76.9	5.5 ◎	77.6	3.3 ◎
	思考・表現	76.6	2.9 ◎	68.3	0.1 ○	65.7	3.4 ◎
	全体	78.8	3.9 ◎	74.0	3.7 ◎	74.1	3.3 ◎
英語	基礎・基本			71.1	3.7 ◎	65.2	2.6 ◎
	思考・表現			73.3	3.6 ◎	53.3	7.8 ◎
	全体			71.7	3.7 ◎	61.9	4.1 ◎

第34回鹿児島県地区対抗女子駅伝競走大会・第68回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会

新型コロナウイルス感染症の影響を受けましたが、両大会とも開催され無事に終えることができました。本地区のチームも合宿や合同練習など例年に比べ取り組みにくい状況はありましたが、しっかり練習を積んで本番に臨むことができました。今回の経験を来年度につなぎ成果を出してほしいと考えます。

【結果】

女子：Cクラス優勝（総合8位）
男子：総合11位



【男子：初日スタート】



【女子：フィニッシュ】

県指定研究公開：プログラミング教育

～西之表市立榕城小学校、令和3年2月5日（金）～

本公開には、島内外からオンラインを含め総勢150人に及ぶ出席がありました。



3つの公開授業では、教科等のねらいを達成するためにプログラミングのツールを活用【4年外国語活動の様子】用しながら「主体的・対話的で深い学び」が展開されました。また、鹿児島大学大学院の山本朋弘准教授による貴重な講演も行われました。

来年度には、全ての小・中学校で1人1台のタブレット端末が配布され、学校の授業の在り方が大きく変わろうとしています。先進的に取り組まれた榕城小学校の研究成果を共有し、各学校においてプログラミング教育を始めとする効果的なICT活用が展開されることを期待しています。

社会教育委員だより・社会教育振興会だよりの発行

熊毛教育事務所では、社会教育や生涯学習の充実・発展を目的に、リーフレットを発行しています。

コロナ禍にあっても地域の活性化を願い、柔軟な発想で工夫を凝らした各市町の行事や地域活動を牽引する社会教育委員の思い等を掲載しています。

全学校及び社会教育委員に配布していますので、ぜひ御覧ください。（熊毛教育事務所ホームページでも紹介）



「体力アップ！チャレンジかごしま」学校賞決定

令和2年度「体力アップ！チャレンジかごしま」の学校賞が決定しました。本地区から、**西之表市立伊関小学校**と**中種子町立増田小学校**の2校が受賞しました。

本地区は小学校33校、中学校6校、計39校が申告し、**地区全体の申告率は95.1%まで向上**しました。来年度も引き続きたくさんの方の学校が「体力アップ！チャレンジかごしま」に積極的に取り組んでいただき、運動をする機会の充実に努めてほしいと考えます。



伊関小学校



増田小学校

受賞おめでとうございます

- ◆九州地区子ども会育成連絡協議会表彰
丸田 健次氏（西之表市）
 - ◆優良少年少女団体及び地域高校生クラブ等表彰
高平子ども会（屋久島町）
 - ◆九州ブロックPTA協議会表彰
屋久島町立宮浦小学校PTA（屋久島町）
 - ◆熊毛地区社会教育関係優良団体及び個人表彰
人形劇団ゆびきり（西之表市）
河野 眞佐子氏（西之表市）
林 良和氏（南種子町）
- 今後ますますの御活躍をお祈り申し上げます。

地区教育論文審査会

令和3年1月18・19日に令和2年度地区教育論文・実践記録の審査会を行いました。今回は、4市町から233点の応募がありました。本年度は、特に、「プログラミング教育」や「ICTの活用」についての研究・実践が多く、関心の高さがうかがえました。

教育論文・実践記録集第30号として、特選の中から8点を厳選し掲載しました。全学校に配布しますので、御活用ください。



令和2年度本地区における児童生徒の体力・運動能力の実態

令和2年度本地区の児童生徒の体力・運動能力の実態について、体力・運動能力調査の結果を分析しました。表は本地区と県のTスコアによる比較です。

全体的に見ると、84.4%（81/96）の種目で県平均を上回っている状況です。

種目別にみると、反復横跳び（敏捷性）が高く、長座体前屈（柔軟性）に課題が見られます。

学年別で見ると、中1が男女ともに全種目で県平均を上回っていますが、小2女子に課題が見られます。

授業改善や「チャレンジかごしま」の取組等を通して、課題の解決につなげてほしいと考えます。

種目	握力		上体おこし		長座体前屈		反復横跳び		20mシャトルラン		50m走		立ち幅跳び		ボール投げ	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
小2	○	△	◎	△	△	△	○	○	○	◎	○	○	◎	◎	△	△
小4	○	○	◎	◎	△	△	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	△	○
小5	○	○	◎	◎	○	△	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	◎	○
小6	○	△	○	◎	○	△	○	◎	◎	◎	○	○	△	○	◎	◎
中1	◎	◎	○	◎	◎	◎	○	◎	○	○	○	○	◎	◎	○	◎
中2	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	△	◎	◎	◎	◎	△	○

【Tスコア：◎52以上 ○50以上52未満 △48以上50未満 ▲48未満】

ハラスメントは許されません！ あなたの言動、大丈夫ですか？

「セクシャル・ハラスメント」とは、他の者を不快にさせる職場における性的な言動及び他の教職員、児童生徒等を不快にさせる職場外における性的な言動をいい、わいせつな言辞、性的な内容の電話、性的な内容の手紙・電子メールの送信、身体的接触、つきまとい等がこれに当たります。

「パワー・ハラスメント」とは、職務に関する優越的な関係を背景として行われる、業務上必要かつ相当な範囲を超える言動であって、職員に精神的若しくは身体的な苦痛を与え、職員の人格若しくは尊厳を害し、又は職員の勤務環境を害することとなるようなものをいいます。

【職場での取組】

- ハラスメントを正しく理解し、自らの言動を顧みて改善を図るようにする。
- 相談しやすい環境を整備し、問題が生じた場合、迅速で適切に解決できるような手順を全職員で確認する。
- ハラスメント防止の研修を実施し、教職員一人一人の自覚を促し、意識の持続化を図る。

